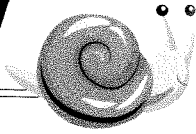


No.10

東野高等学校同村会会報

2017 年発行

風を見る者



発行者

東野高等学校同村会 (同窓会)
〒358-8558 埼玉県入間市大字二本木112-1

メールアドレス : info@dousonkai.com
ホームページ : <http://www.dousonkai.com>





先生からあなたへ

校長 中川 進



「光陰矢の如し」。入学から卒業までの3年間、そして卒業後の年月も、まさにこの言葉通り、月日の経つ早さを実感させられているでしょう。

皆さんは、社会人として第一線に出た方、各種上級学校に進学して専門的な勉強や技術を高められた方、と各々がさまざまな道

を歩まれていると思いますが、どの道に進んでいたとしても、社会の変化に注意しながら、与えられた現実努力を惜しまないでください。

今、世界は急激な国際化とICT(情報通信技術)化によって大きく変化しています。国際化の入口にあたる他民族間の意思の疎通は英語を介して行われているのが一般的です。地球上の25%の人が使用している英語は世界の共通語といわれ、更に英語人口は増え続けています。皆さんもこれまで以上に積極的に英語に取り組んでいただきたいと思います。

またAI(人工知能)の研究が進み、多くの分野での実用化が現

卒業生のみなさんへ

地歴公民科 白倉幸一



生徒を「教える」と同時に、生徒から「教わる」教員であり続けたい、こんな思いで38年間本学園に在職してきました。東野高校とは2期生(1986年)からの付き合いです。

最も印象深い出来事は、授業を通して興味・関心をもった生徒が有志で集まり、現地調査を行い、文化祭で研究発表と討論会を実現したことです。

後日「楽しい売店が色々あるなかで、歴史と現実を研究した高校生は貴重なもので、深く調査したことはあなたの方の心を熱く深く重いものに成長させたことでしょう」こんな激励のハガキが届きました。「東野は授業が命」このことを実感した瞬間でした。

成績や単位とは全く無縁な取

東野高校も30年を過ぎました。卒業生の皆さんは、お元気でお過ごしのことでしょうか。

学校を人間に例えれば、成長期から成熟期にはいり、学校も色々変わってきました。十年一昔と言いますが、学校もまさにその通りになってきています。5年も過ぎると、周りの環境も変化します。そのため、校内も少しずつではありますが年々変わってきています。

卒業後、東野に足を運んでいない人にとっては、驚くほど学校の様相が変わりました。行事などの内容も、周りの環境にあわせてだいぶ変わりました。しばらく東野に寄っていない卒業生の方は、ぜひ今の東野を見に来て下さい。

現在、私は管理課で働いています。卒業生の顔を見られると、ほっとする時があります。学校の近くに来たら寄って下さい。学校はまだまだ取り組んでいかなくはならない課題が沢山あり、その為にも卒業生の力が必要です。学校を育てていく為に、色々な立場で、一緒に頑張っていけたらと願っています。

り組みにも、本当に学ぼうとする姿勢をみせたのです。学力や偏差値といったモノサシでは測れない人間力をもつ生徒達が出て、それが本校を支えている「学校力」のように思われます。また卒業後も気軽に来校し、そして彼らを迎え入れる環境が、本校のあたたかさを表しています。

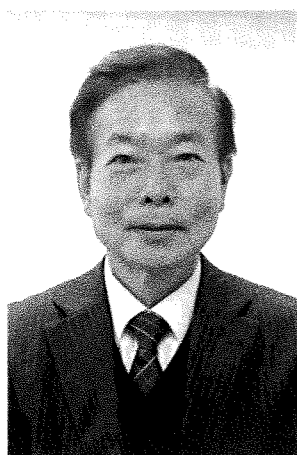
2010年から『30年記念誌』の作成に携わってきました。統一独初代大統領ワイツェッカーの「過去の歴史に目を閉ざす者は、現在(未来)に対し盲目となる」。

執筆と編纂の過程で、この言葉は深く重くのしかかってきました。当初の計画では「自由について」の章を書く予定でしたが、未投稿になってしまいました。機会があれば紹介したいです。

メッセージにかえて

外国語科の大脇光輝先生に

お聞きしました



1【何年より東野にいらっしやいますか。】

1977年(昭和52)より東野高校の前身「盈進高校」にお世話になり、今日に至っています。

2【印象に残っている出来事。印象に残っている生徒。】

たくさんさんの出来事や卒業生の姿が走馬灯のように蘇ってきましたが、私の還暦のお祝いに卒業生数名から手紙を、10期生の生徒たちからはコメント入りの色紙が送られてくるというサプライズに感激しました。教師冥利に尽きると心から思い、教師であることを本当に良かったと強く感じました。

3【今後の東野に期待すること。】

生徒の誰もが、青春時代を東野で過ごせて良かったと思える学校にして欲しいと思います。そのためにも、生徒たちには、勉強に限ったことではありませんが、夢中になれるものを見つけて欲しいです。そして自分で

実となり、その進化には目を見張るものがあります。今後は今まで存在していなかった新しい職業が増え、これまで必要とされてきた人間の能力にも変化が求められてくると言われています。これからは、今までの常識だけでは量れないようなことや、地球規模で考えられなければ解答にならないかったり、そして何よりも、自ら考え、新しいものを創りあげようとする力や姿勢が求められる。という時代がきていることを認識し、それぞれの方向で活躍して欲しいと願っております。

話はかわりますが、本校を卒業された方は全員が同村会(同窓会)に自動的に入会され、現在では8000名を超える多くの会員を抱えるまでになっています。せっかく東野という一つの縁で結ばれたのですから、さまざまに分野で活動されている皆様の親睦を深める意味でも、昨年実施した「開校30周年記念パーティー」のような会合を定期的に開催しては如何でしょうか。会員の皆様相互の、より深い交流を期待しております。

決めたことを納得するまでやり遂げて欲しいですね。先生方には、「教育の目的」は、生徒たちが世の中で生きていく力、つまり、「幸福に生きるための力を養うためにある」という原点にいつも立ち戻って欲しいですね。そして使命感をもって日々生徒に向き合ってくださいと思います。

4【卒業生に一言。】

卒業生から元気をもらうことが年々多くなっています。また、有難いことに卒業生の御息の入学も年々増えて来ています。手を煩わされた生徒も少なからずいましたが、今思えば、その生徒も含め、卒業生は本当に有難い存在だと感じています。

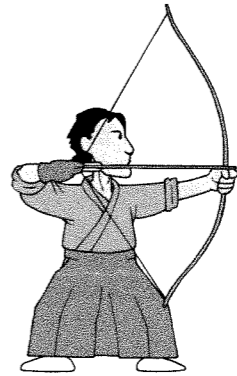
卒業生のみなさんへ

現管理課(元理科) 荻沼 茂



部活動 紹介

- ①現在の部員数を教えて下さい。
- ②主に活動を行っている場所はどこですか。
- ③顧問の先生を教えてください。
- ④部の目標、夢を教えてください。
- ⑤卒業していった先輩に伝えたいことはありますか。
- ⑥現在、部活内で困っていることがありますか。



茶道部

- ①6名(男1名女5名)
(3年1名2年1名3名)
- ②正門3階
- ③平本麻里子先生、井上直美先生、北村コーチ(毎週土曜日)
- ④他の学校との交流をもつと増やすことです。
- ⑤茶道を通して学んだマナーを生かし、どんどん活躍して行って下さい。
- ⑥練習する場所がせまいので遊びに来て下さい。

でもう少し大きい所で練習したいです。射場の長さが短いです。良い道場ができれば良いと思います。現状では入間市民武道館に7限が終ってからスタートして18時練習開始で、20時に練習が終了します。校内の道場は大会とは大幅に違う為練習の成果が出ません。

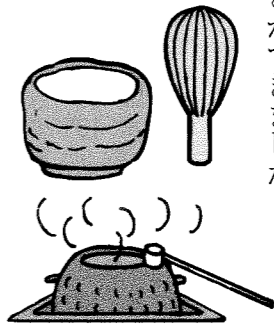
⑥今は、部活のたびに教室に畳を敷いて活動しています。小さくても茶室が欲しいです。部員をもっと増やしたいです。

3年間茶道を通して

茶道部部长

私は、3年間茶道部に所属していました。部員同士の仲が良く、アットホームな雰囲気がとても好きです。最初は表千家を習っていましたが、コーチが変わって裏千家になりました。最初は戸惑いましたが、どちらも「日本の心を学ぶ」という点では何も変わらず、より深い知識をつけることができました。

- ①男子34名 女子9名
(3年生12名、2年生13名、1年生18名)
- ②テニスコート
- ③平井先生、樋口先生、星先生、平本先生
- ④(男子)団体・関東大会出場、個人・県大会出場
(女子)団体・県大会出場、個人・県大会出場
- ⑤男子は団体で県大会に出場しました。
- ⑥ライトがないため11月頃になると、16時半以降、暗くてコートでの練習が

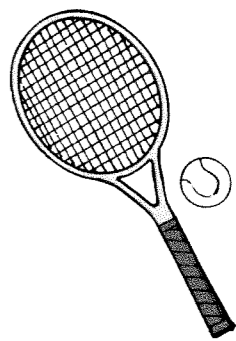


彼らのTea Ceremonyに参加する時の正座の大変さ、お抹茶を飲んだ時の表情など、一つ一つの変化も興味深かったです。高校時代の茶道部の活動を通して、おもてなしの気持ちや忍耐力そして日本の文化を学ぶことができました。

テニス部(男子・女子)

- ①男子6名、女子7名
(3年生2名、2年生3名、1年生8名)
- ②小音楽室
- ③大森久美子先生
- ④聞いてくださる方に感動を与えられるような演奏を目指す
- ⑤現在合唱部は少人数ではありませんが、明るく楽しく「ネガティブ禁止!!」をモットーに活動しています!!東野高校にお越しの際には是非合唱部にもお越しください。
- ⑥伴奏者がいないことです。

合唱部



できなくなってしまうのが悩みです。



総会報告書



東野高等学校卒業生の皆さん。同村会会長の遠山です。
2016年9月10日に行われた同村会総会において、本年度も会長に選任して頂きましたことを御報告致します。他の役員と共に、引き続き同村会の活動を拡充していきたいと考えております。
昨年度の総会は同村会Pティーのプログラム内で行われましたが、本年度の総会は、盆華祭初日に開催するという新たな試みであったため、出席者数に不安を感じておりました。しかし、一昨年の通常の総会と比較するならば、出席者が13名、うち役員以外に自主的に総会に出席をされた会員が7名と、大変喜ばしい結果となりました。
また、議案書に対し様々な意見が出され、今後の同村会活動の大きな糧となりました。
(採択済議案書は同村会HPに掲載しております)
ここで、総会議案につき順不動となりますが、簡単に御報告致します。基調報告で触れましたが、2015年度の役員会では、同村会発足後、初めてとなる会費の見直しを議論し、会費の値上げを学校へ申し入れることとなりました。
同村会が活発な活動を行うためには、原資が必要となります。これまでも同村会の活動を活発にするため、予算を超える支出をせざるを得ませんでした。
しかし、このまま会としての機能や活動を果たしていくには、原資が脆弱であることから値上げに踏み切る必要となりました。再来年の新会員の会費から値上げが実施されることとなります。

次に、新年度の役員ですが、交代はありますが昨年同様16名体制が維持されました。卒業期の一桁代が増えましたが、10期代の役員が1名と非常に少なく、同世代の補強を充実させる必要性を感ずいています。併せて、役員の継承をどのようにしていくか、継続的な討議の必要性を提言しました。
残念なことに、活動報告におけることができなかった事項があります。本来、同村会がお手伝いをすべき各期の同期会の開催がなされなかったことです。同期会は、東野や当会について、友人らと考える絶好の機会です。そのような場で意見交換がされたことを同村会に持ち寄って頂くことが、より当会を前進させる原動力になります。今後、各期の同期会が定期的開催されるよう願うとともに、ご連絡等のお手伝いをしながら、少しでも多くの会員と繋がりを持たせたいと願っております。
平成27年度は、東野高校30周年の同村会Pティーや、特別寄贈等の多額の出費がありました。それらを踏まえ、本年度の予算案は、支出を抑えつつも、新たな活動を抑制することにならないよう計画いたしました。
新たな活動として、会員の職業経験等を踏まえた在校生との交流会を開催し、在校生と卒業生との新たな繋がりを深めたいと考えております。同時に、在職の教職員の方々とも交流を深め、同村会の存在意義を認識してもらい、また、同村会としても、教職員の方々が本会に求めるものを認識し、相互の関係を深めたいと考えております。
このように、本年度も同村会は前進を続けていきますので、今後の同村会のため、東野のためにも、引き続き皆さんの御支援と御協力を御願い致します。

第6号議案 2016年度予算案

①収入の部(単年度分)

費目	予算額
1 H28年8月時會費(29期¥5,000×1名) H29年3月時會費(30期¥5,000×約306名)	¥1,535,000
2 受取利息	¥1,500
3 催事収入	¥20,000
4 雑収入	¥5,000
計	¥1,561,500

②支出の部

費目	予算額
1 事務費(事務用品、消耗品)	¥70,000
2 通信費(電話・プロバイダ・メール・会報送料等)	¥1,000,000
3 催事費(学園祭(含既済)・卒業記念品購入費)	¥300,000
4 印刷費(会報・総会案内・封筒等)	¥350,000
5 会議費(交通費・会場使用料)	¥150,000
6 備品購入費	¥150,000
7 作業外注費	¥120,000
8 寄贈品等購入費	¥100,000
9 修繕費(または修繕積立金)	¥50,000
計	¥2,290,000

東野高等学校同村会 平成27年度決算書 2015.08.01~2016.07.31

収入	金額	予算額
会費(入会金¥5,000×292名)	1,460,000	1,470,000
受取利息	1,721	1,900
催事収入(遊華祭等)	25,650	15,000
その他収入	10,000	
収入合計	1,497,371	1,486,900
前年度繰越金	11,102,031	
総収入合計	12,599,402	

支出	金額	予算額
事務用品費(宛名ラベルなど、消耗品)	113,904	50,000
通信費(電話・プロバイダ・メール・会報等送料)	483,963	1,000,000
催事費(学園祭・卒業記念品購入費・周年記念費)	691,653	900,000
印刷費(会報・総会案内・封筒等)	211,136	500,000
会議費(交通費・会場使用料)	153,290	150,000
備品購入費	155,760	50,000
外注費	25,695	70,000
寄贈品等購入費	304,716	300,000
修繕費		50,000
支出合計	2,140,207	3,070,000

翌年度への繰越金	収入合計	支出合計	繰越金
	12,599,402	2,140,207	10,459,195

繰越金内訳

埼玉りそな銀行 普通	390,189	上記の通り、会計報告いたします。
埼玉りそな銀行 定期	6,209,781	会計 北澤 輝克
ゆうちょ銀行 普通	1,841,385	監査の結果、相違ありません。
ゆうちょ銀行 定期	2,000,000	監査 根本 幸
現金繰越金	17,840	
合計	10,459,195	

総会資料は、こちらからダウンロードできます
http://www.dousonkai.com/kaiho/giansyo_2016.pdf



2016年度活動予定

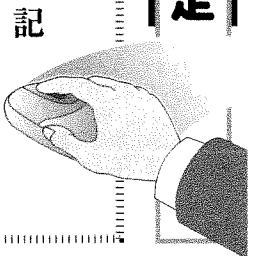
2016年度の同村会は、下記の活動を行う予定です。(順不同)

好評だった卒業記念品の配布、2015年度新会員へのアピールと会報の新会員への同時配布を予定しております。

前年度までの部活への備品寄付や、同村会パーティーが一旦は終結しておりますので、全体的な予算計上は縮減しておりますが、学校や同村会への関わりを再開した会員、消息が判明した会員、新会員等、会員の絶対数や送付先が増加したことに伴い、通信費等は、本年度予算レベルの金額が継続的に毎年費消されることが予測されますので第6号議案の予算案も併せて御確認下さい。

しかし、経費の問題はあるとしても、今後も各期の同期会等のバックアップをし、不明会員の情報特定には一層の努力をしていきます。

その他、基調報告にも記載したように、会員の経験・職業をきっかけとした在校生との交流の場の実現や、業務の外注化も含めた、本会役員の継承問題について継続的に討議を重ねていきたいと考えております。



記

1 役員会の定期的開催
2 会報の作成並びに郵便での会報発送

3 30期生卒業記念品作成及び配布

4 30期生卒業式等出席並びに同村会アピール(会報の直接配布)

5 各期同期会案内発送

6 2017年度総会案内発送

7 盈華祭参加(在校生や実行委員会との交流)

8 新たな協力委員の募集、同村会のバックアップメンバーの拡充

9 会員の経験・職業等による在校生との交流会

10 役員継承問題の継続討議

同村会よりお願いとお知らせ

ブログ始めました!

我が同村会はブログを始めました。

年1回の会報だけではお届けしきれない『東野の今』をお伝えしたいと思っております。

懐かしい風景。懐かしい先生。そして、新しい東野。

様々な東野をお届けしていきます。

← <http://s.ameblo.jp/dousonkai-ameba>



会報届いてる?



毎回お願いしておりますが、同級生に会ったら声かけをお願いします。個人情報保護法により、1度切れてしまった糸を繋ぎあわせることが、とても難しい世の中になりました。

会報が届いてない卒業生は、同村会において『不明者リスト』に入っております。

会報の届いてない方、ぜひ同村会までお知らせ下さい。

またご住所の変更がございましたら必ずご連絡下さい。

メールアドレス→ info@dousonkai.com

またはFAX→ 04-2934-6462

郵便→ 〒358-08558 入間市二本木112-1 東野高等学校内「同村会」宛
どれでも構いません。同村会にご一報ください。

東野高等学校30周年を記念して、2015年9月、大講堂にて「大同窓会」を開催致しました。今後数年に一度「大同窓会」を企画しております。会報が届いてない卒業生に、お誘いの連絡ができません。同村会とつながっていない卒業生の方、ご連絡お待ちしております!

卒業生の仕事力!



同村会では、お仕事をされている卒業生の力を求めています。

同村会の活動の中で、備品の発注・同村会のホームページの管理委託・会報などの印刷・イベントの企画。

また、同村会室の修繕工事・エアコンの取り付け。さらには大同窓会の会場・忘年会、新年会などのお店…などなど。お仕事の依頼をするならば、できれば卒業生に!と常に思っております。「現在こんな仕事をしていますよ!」

こちらまでご連絡いただけましたら幸いです。役にたたないだろうから…と思わずに、どんなお仕事をしているか、そのお仕事の魅力等もどんどん教えて下さい!もちろん、無断で情報を公開することは致しませんのでご安心下さい。

卒業生として…またビジネスとして…同村会とつながってください!

2016年度新役員名簿

役職	卒業期	氏名
会長	1期	遠山 尚
副会長	3期	伊達 亮介
経理	3期	北澤 理恵
〃	23期	下津 郁也
監査	3期	根本 章
	1期	菱沼 博之
	3期	毒島 純
	3期	羽田 寿孝
	4期	高橋古志夫
	5期	深澤 寛
	9期	黒澤 豊
	9期	手嶋 毅
	14期	佐藤 正和
	27期	柏 直輝
	28期	小川 諒
	28期	柳下 太郎

本年度も、よろしくお願ひ致します。